

科目分類	看護専門科目 応用看護	開講時期	4年	前期		
科目名	地域看護学実習 I					
選択/必修	選択必修	単位数(時間数)	2単位	90時間	授業形態	実習
担当教員	鈴木 隆史					
メールアドレス	t-suzuki@tsuruga-nu.ac.jp(鈴木)	オフィスアワー	授業の前後			

授業目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域で生活する個人・家族・集団の健康を守る社会資源を理解する。社会資源とは、条例・規則・市町憲章、施設・設備、地域ケアシステムやネットワーク、人材、財政などを指す 2. 地域で生活する人々の健康支援における看護職の役割を思考する
授業概要	<p>市町の保健センターや地域包括支援センターの事業に参画し、人々の健康を守るための制度やシステムを理解する。</p> <p>実際に地域に赴き、住民から直接話を聞くことに加え、職員から事業の説明を聞き、生活状況や課題を把握する。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前学習 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象者が居住する地域の社会資源について調べ、資料化する。 2) 住民の健康を衛る保健事業と法的根拠を復習しておく。 3) 介護保険制度について復習しておく。 2. 実習内容 <ol style="list-style-type: none"> 1) 市町の保健センターの概要・地域課題・事業計画等について説明を受ける 2) 保健事業に参画し、住民と交流する。 3) ライフステージにあわせた保健事業に参画し、利用者や職員から聞き取りをする。 4) 地区のアセスメントシートを作成する 5) 報告会にて実習での学びを共有する
教材 参考文献等	<p>授業の教科書および講義資料</p> <p>その他、適宜紹介する</p>
成績評価 基準・方法	出席状況、実習内容、実習記録、実習態度などから総合的に評価する。

履修要件	地域看護学概論、地域看護学活動論Ⅰ、地域看護学活動論Ⅱ、健康支援論を修得していること。
留意事項 その他	本科目を履修していないと、地域看護学実習Ⅱ及び地域看護管理実習は履修できません。 臨地実習では五感をフルに活用して情報を得ること。収集した情報は、学内での学習と関連させて解釈すること。
実務経験のある 教員の教育方法	保健師としての政令指定都市での保健所・市町・保健福祉関係機関の連携の経験を活かして、地域看護活動、保健師活動について実習指導を行う。